

す く す く 通 信 第4号

「おなかも！こころも！とちぎでいっぱいキャンペーン」に当選された皆様に、6月2日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後118日目の様子です）



6月に田植えをしてから約4か月が過ぎ、稲穂の色が黄金色に輝いてきました。10月6日の稲刈りに向けて順調に生長しております！

稲刈りした後にどのようにして皆様が普段目にして精米になるかご存知でしょうか？

お米はコンバインという機械を使って刈り取り、「もみ」だけを収穫します。「もみ」とは、お米が包まれている皮のことを言います。収穫の後はおもみから玄米をはずす「もみすり」という作業を行い、その後ぬか層を取り除く「精米」という工程を経て、皆様に届けられます。



今年も農家の皆様が丹精込めて作ったおいしい栃木の新米を召し上がってください。



今回をもちまして、今年度の「すくすく通信」の配信を終了とさせていただきます。短い期間ではありましたが、ご覧いただいた皆様、ありがとうございました。今後とも、栃木県産米をどうぞよろしくお願いたします。